

## 平成 年度学校環境衛生検査報告書(前期:7月~9月)

学校名				学校薬剤師氏名	印
1か所目	検査日時	平成 年 月 日( ) 時 分	天気		
	測定場所	階 教室名( )		在室人数	名
(1)二酸化炭素: ppm					
(2)室内温度: °C 室外温度: °C					
(3)室内湿度: % 室外湿度: %					
(4)浮遊粉じん: mg/m <sup>3</sup> (エアコン使用時)					
(5)気流: m/秒 (エアコン使用時が望ましい)					
(6)ホルムアルデヒド: ppm					
測定時の空調: 有 無 (該当に○) 空調設置時期: 平成 年 月~					
空調の種類: エアコン その他					

↓1ヶ所目とは階の異なる教室を測定

2か所目	検査日時	平成 年 月 日( ) 時 分	天気		
	測定場所	階 教室名( )		在室人数	名
(1)二酸化炭素: ppm					
(2)室内温度: °C 室外温度: °C					
(3)室内湿度: % 室外湿度: %					
(4)浮遊粉じん: mg/m <sup>3</sup> (エアコン使用時)					
(5)気流: m/秒 (エアコン使用時が望ましい)					
(6)ホルムアルデヒド: ppm					
測定時の空調: 有 無 (該当に○) 空調設置時期: 平成 年 月~					
空調の種類: エアコン その他					

- (1)換気 二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい  
(2)温度 10℃以上 30℃以下であることが望ましい  
(3)湿度 30%以上、80%以下であることが望ましい  
(4)浮遊粉じん 0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること (空調設備及び機械環境設備を使用した場合)  
(5)気流 0.5m/秒以下であることが望ましい  
(6)ホルムアルデヒド 0.08 ppm(100μg/m<sup>3</sup>)以下  
※30分間換気後5時間以上密閉した状態で測定(前日に換気を依頼するなどに対応してください)

指導助言

## 平成 年度学校環境衛生検査報告書(後期:12月~2月)

学校名				学校薬剤師氏名	印
1か所目	検査日時	平成 年 月 日( ) 時 分	天気		
	測定場所	階 教室名( )		在室人数	名
(1)二酸化炭素: ppm					
(2)室内温度: °C 室外温度: °C					
(3)室内湿度: % 室外湿度: %					
(4)浮遊粉じん: mg/m <sup>3</sup> (エアコン使用時)					
(5)気流: m/秒 (エアコン使用時)					
(6)一酸化炭素: ppm (冬季に燃焼器具を使用した場合)					
(7)二酸化窒素: ppm (冬季に燃焼器具を使用した場合)					
測定時の空調: 有 無 (該当に○) 空調設置時期: 平成 年 月~					
空調の種類: エアコン 石油ストーブ ガス暖房機 石油ファンヒーター(室外排気・室内排気) その他					

↓1ヶ所目とは階の異なる教室を測定

2か所目	検査日時	平成 年 月 日( ) 時 分	天気		
	測定場所	階 教室名( )		在室人数	名
(1)二酸化炭素: ppm					
(2)室内温度: °C 室外温度: °C					
(3)室内湿度: % 室外湿度: %					
(4)浮遊粉じん: mg/m <sup>3</sup> (エアコン使用時)					
(5)気流: m/秒 (エアコン使用時)					
(6)一酸化炭素: ppm (冬季に燃焼器具を使用した場合)					
(7)二酸化窒素: ppm (冬季に燃焼器具を使用した場合)					
測定時の空調: 有 無 (該当に○) 空調設置時期: 平成 年 月~					
空調の種類: エアコン 石油ストーブ ガス暖房機 石油ファンヒーター(室外排気・室内排気) その他					

(1)換気	二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい。
(2)温度	10℃以上 30℃以下であることが望ましい。
(3)湿度	30%以上、80%以下であることが望ましい。
(4)浮遊粉塵	0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であること (空調設備及び機械環境設備を使用した場合)
(5)気流	0.5m/秒以下であることが望ましい。
(6)一酸化炭素	10ppm以下であること。(冬季に燃焼器具を使用した場合)
(7)二酸化窒素	0.06ppm以下であることが望ましい。(冬季に燃焼器具を使用した場合)

指導助言